

# 流山市高齢者支援計画(案)パブリックコメント意見

NO	項目	条項・該当箇所	ご意見等
1		P49 (10) 福祉会館の運営 [取り組みの方向]	直営の福祉会館を順次指定制度へ移行することは大歓迎ですが、株式会社が国の高齢者雇用助成金を利用しての応募は排除して下さい。提示金額が安くなり、国の助成を受けないシルバー人材センターが不利になります。又、シルバー人材センターを市が設立した趣旨にも反します。
2			田中角栄総理大臣の日本列島改造論、教育革命改革論etc、アメリカに学べ追いつけ、スウェーデンに社会福祉国家政策を学べetc、スウェーデン、デンマーク等ヨーロッパ数カ国を35年前に視察、学校給食、児童から老人までどう実施するか考え時以来、急激な進歩をとげてきた。 本市の計画書は全て完成された最高のものです。 いつ、どこで、何をどのようにするのか、具体化、実現化するかわかりません。 実態把握、将来計画～具現化まで、よくできています。
3		P50 施設サービスについて  就業支援	ほとんどの高齢者は老後の生活に不安を感じている。希望する高齢者が全てすぐに入居できる10万円/月以下の有料老人ホームを早急に建設し、流山が全国に先駆けになることを希望します。  働きたいので流山市シルバー人材センターに登録しても就業できない沢山の人がいます。 昨今、時間単位が安いNPOが主流と聞きますが、これは間違っている。高齢者就業支援対策として、シルバーを最優先して、市の関連施設等に雇用すべきだと思います。
4		P50 2-(2)	シルバー人材センターは収益事業を持たないため、他のNPOが企画できる経費を伴う事業について競合できない。 指定管理者入札に際し、この点の考慮が必要と考えます。
5		福祉会館の運営  幼児対策も	75歳代から急速に健康を害する人が多く見受けられるので、要介護年齢を遅らせるためにも、70歳代の人の健康管理が特に重要と思われる。現在福祉会館開催のウォーキングには大変人気があり申込みが直ぐ一杯になり希望に叶えられない。一つの対策として各福祉会館は毎月1回、開催日が重複しないように開催計画をたて運動不足による生活習慣病を発生させない一つの方法として立案させて頂きたい。老人対策は各種提案や実施計画は素晴らしいものがあります。一方、これから将来を背負う子供たちが心配です。放射能汚染により外の芝生で遊べない状態では、屋内で時間をさくことなく、のびのびと運動させられないので、流山市の休遊土地を有効利用を計画し、天井が一面ガラス張り太陽が一日中差し込み床は人口芝又は本芝で大運動場で多目的なものがあるとすばらしい。
6		P50 調査結果から見られる高齢者施策への期待	アンケート調査結果を踏まえて、流山市が将来に亘り市民に対して具体的提案を示すのが高齢者支援計画書だと考えます。 従って、一般高齢者や在宅認定者のニーズを単なる不満と捉えず、問題点の本質を見極めて、提案型の計画書を策定願いたい

7		<p>高齢者支援について</p> <p>シルバー人材センターと福祉会館の活用</p>	<p>シルバー人材センターには元気な高齢者が多く登録されています。仕事もさることながら、ボランティアへの協力にも意識は高いと思います。</p> <p>流山市として高齢者支援体制がこれだけあるにもかかわらず、認識、周知が低いようなので各種の支援体制と活動にシルバー人材センターとのパートナーシップを高めてはいかがでしょうか。</p> <p>福祉会館でも自主事業等で一部参画していますが、予算等の制約もあり限定的になっています。元気な高齢者のコミュニティー作りの拠点として、また市役所では敷居が高く感じられている人と、民間とのパイプ役としての福祉会館の更なる活用を考えてみてはどうでしょうか。</p>
8		<p>就業支援</p>	<p>60歳～65歳で退職した人達も健康の為働きたいと思う人は沢山います。</p> <p>流山市シルバー人材センターへ登録してもなかなか仕事が見つかりません。</p> <p>収益事業を持つ他のNPOが業務拡大しておりシルバーセンターを設立した趣旨に、反していると思います。</p>